

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

5-①

施策
市民自らが、地域の課題を解決できるように支援する

担当部局
企画財政局，総務局

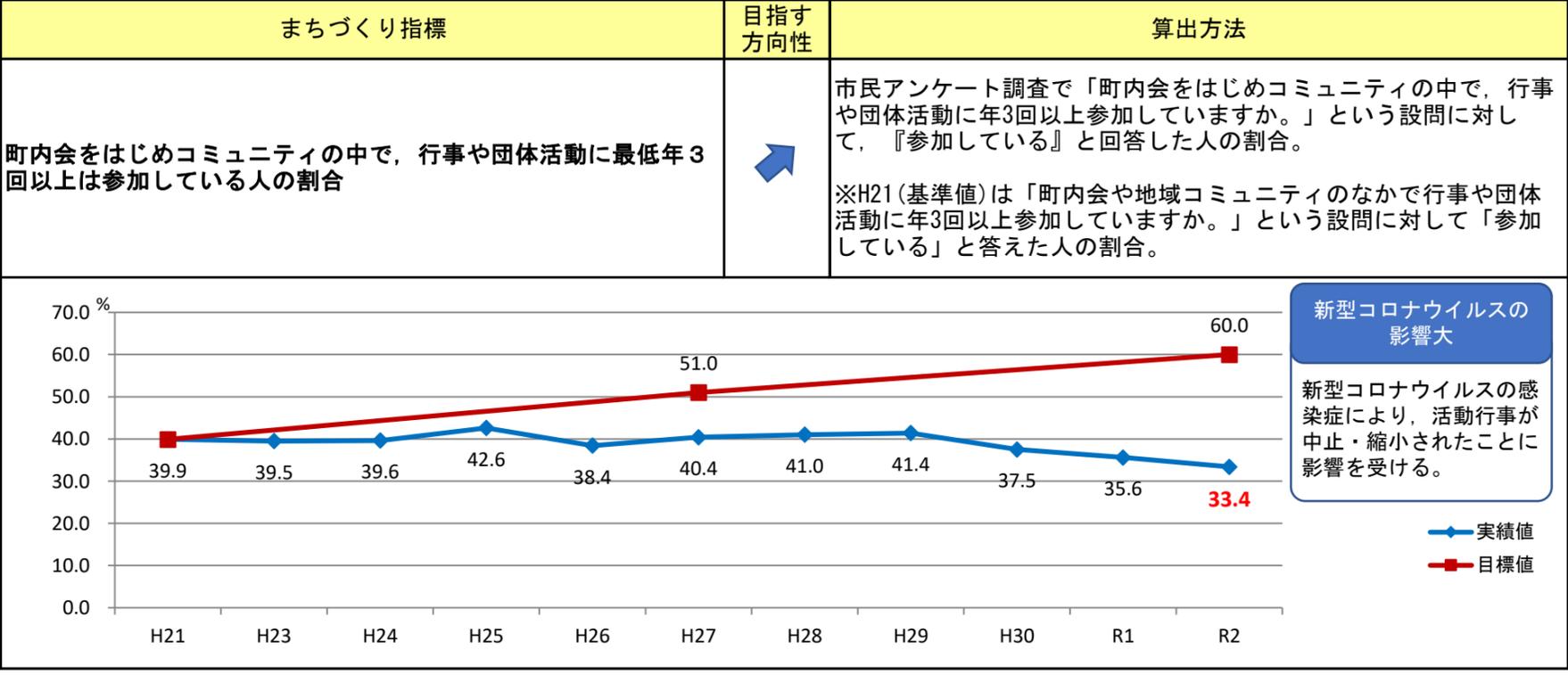
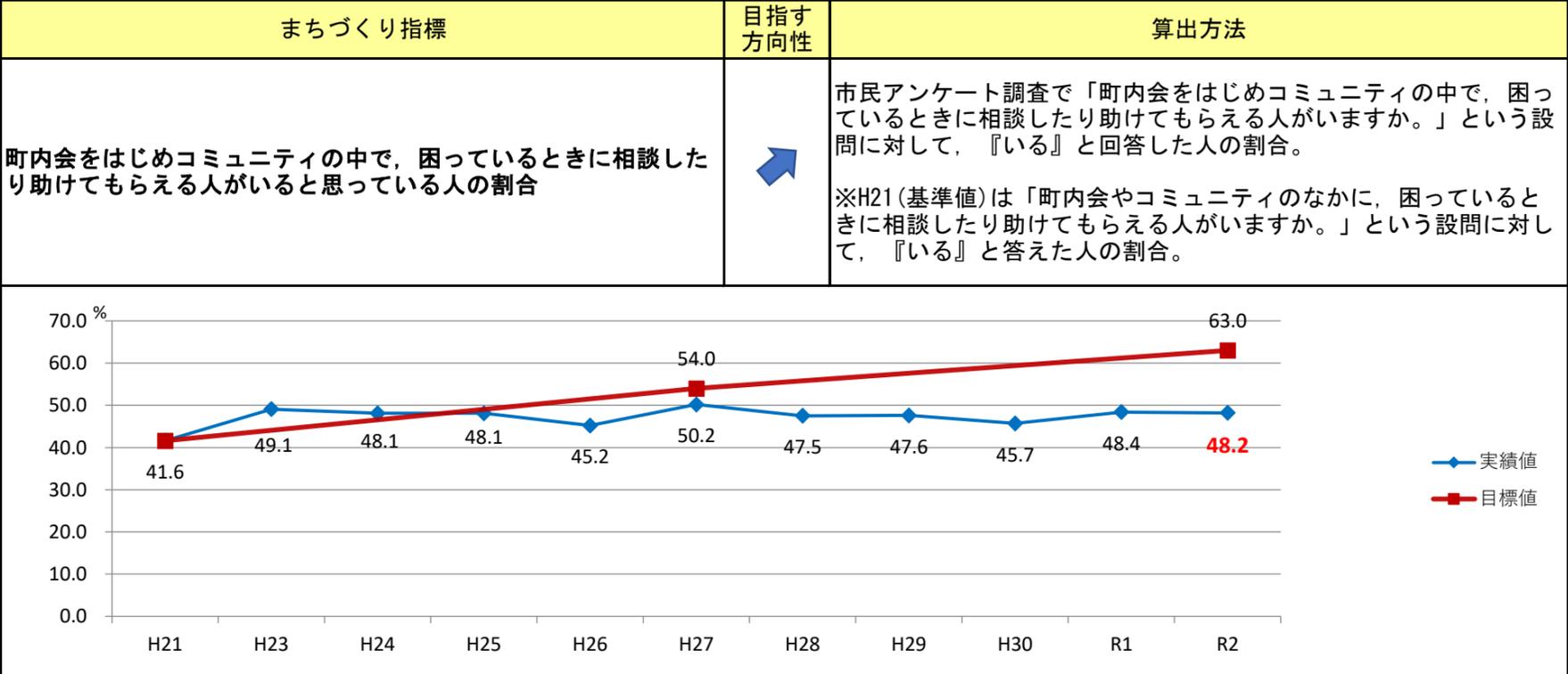


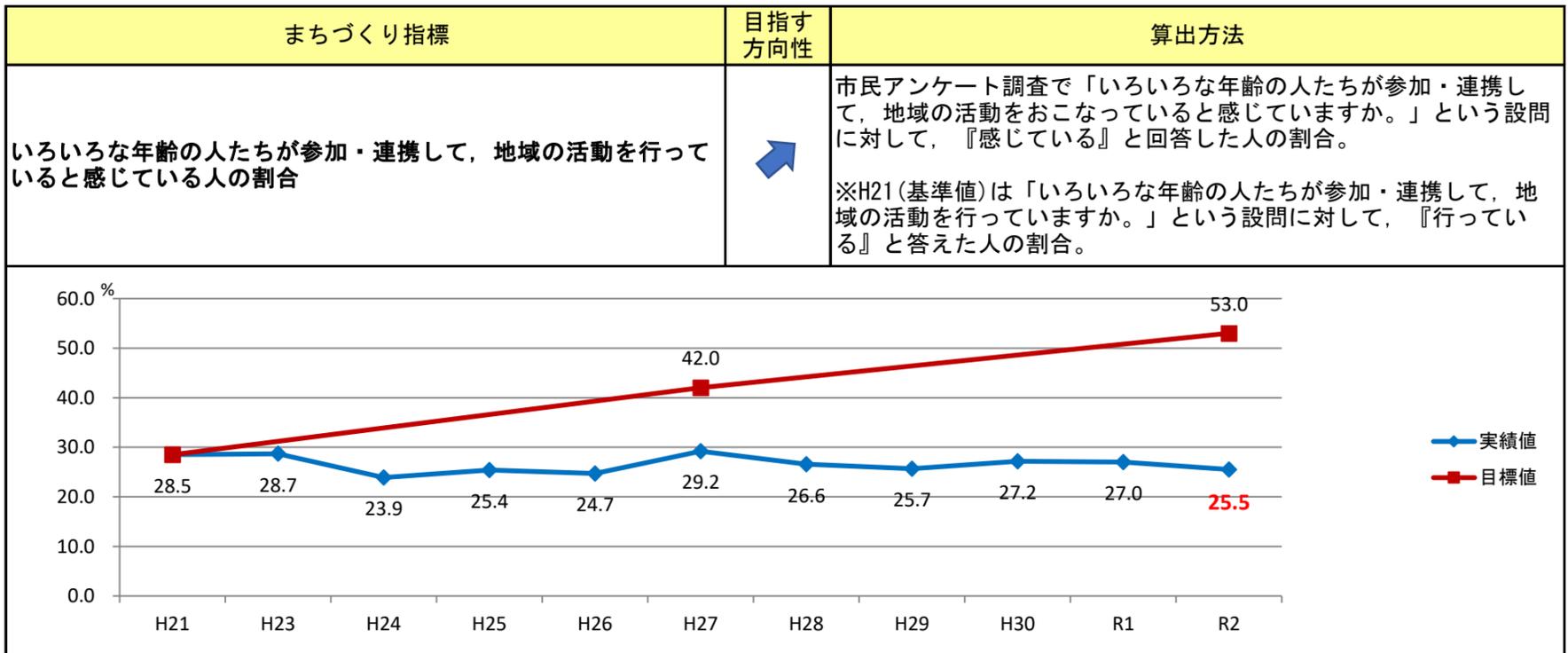
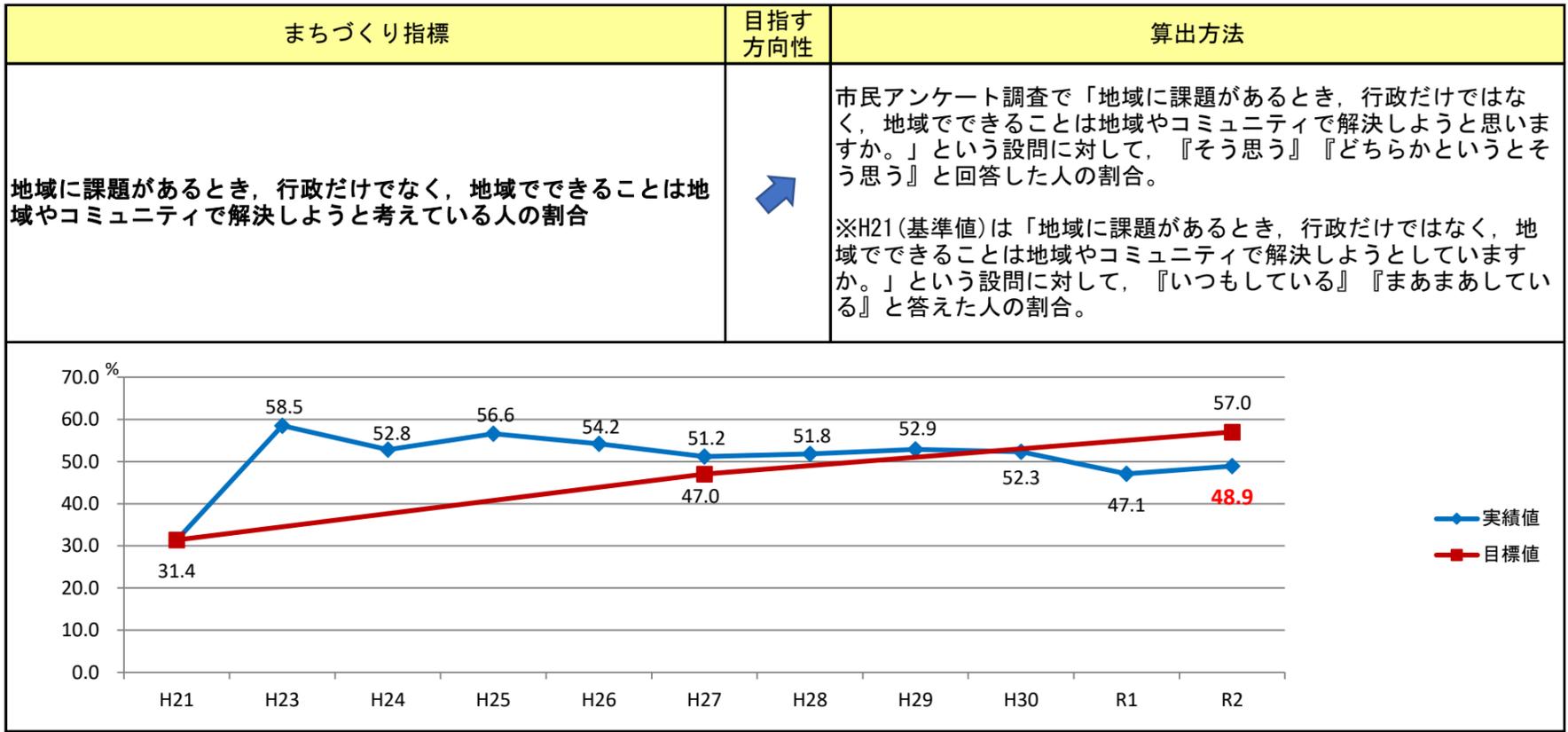
【優しさ】 めざすまちの姿 町内会をはじめコミュニティの中で世代を超えて、助け合って暮らしている

市の基本方針

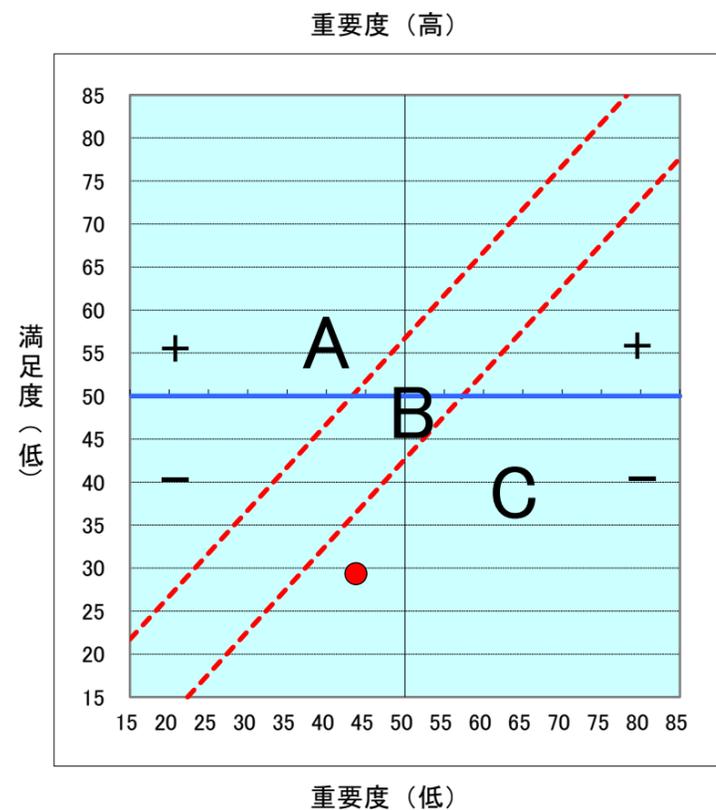
- さまざまな世代の方々が気軽に地域の輪に入っていけるよう、コミュニティ活動の情報を発信するとともにコミュニティ意識の高揚に努めます。
- 市民自らが主体的に地域の課題解決に取り組むコミュニティ活動に対する支援や、コミュニティ活動の拠点となる施設や設備に対する支援を行います。
- コミュニティ間の情報交換を行うなど、相互に連携する機会の創出に努め、ネットワークを構築し、コミュニティ活動の一層の拡大を支援します。
- 活動主体であるコミュニティの意見等を確認し、ニーズにあった支援の内容や方法を実施します。

数値目標





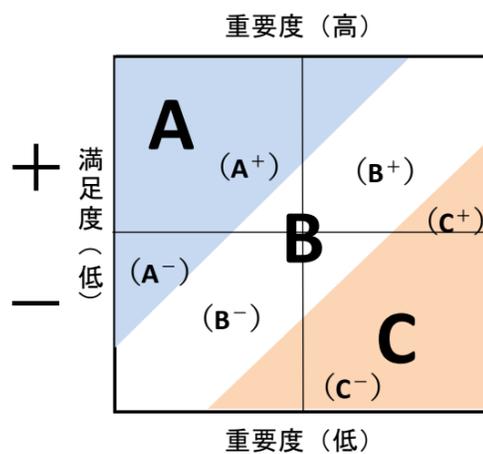
市民の重要度・満足度 (R3.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
C-	29.38	43.74

●重要度に見合う以上の満足度が得られている (C)
●重要度が平均値より低い (-)

【グラフの見方】



A : 重要度に見合った満足度が得られていない領域
 B : 重要度に見合った満足度が得られている領域
 C : 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割 (3×2領域)
 + : 重要度が平均値より高い部分
 - : 重要度が平均値より低い部分

A+, A-, B+, B-, C+, C-
 A+ : 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	コミュニティ情報サイト運営事業	(Ⅰ) 概ね小学校区を単位とするコミュニティ組織の情報発信の促進 (Ⅱ) コミュニティ情報サイトを運営し、イベント情報や活動報告の情報発信を行った。 (Ⅲ) 継続して実施するが、より効果的な情報発信の方法を検討する。	-
創	協働のまちづくり推進事業	(Ⅰ) 住民主体の地域づくり及び市民と行政による協働のまちづくりの推進 (Ⅱ) eラーニングを活用した職員向けの協働研修の実施、テレビ会議システムを活用したコミュニティ協議会の交流会、被災したコミュニティへの専門家派遣を通して、市民と行政の協働のまちづくりを推進した。 (Ⅲ) 住民が主体となった地域づくりの推進や、新たな協働の可能性を見出した上で、市民と行政の協働のまちづくりを推進するのを目的に、継続して実施する。	1,540
	コミュニティ組織づくり事業	(Ⅰ) コミュニティ協議会の新規設立及び地区ごとの連合組織づくりの推進 (Ⅱ) コミュニティ協議会の連合組織の運営経費(3団体)を補助した。新たにコミュニティ協議会を設立した学区(1学区)に対し、補助金を交付した。 (Ⅲ) コミュニティ協議会設立や地域の連合化を促進するため、継続して実施する。	800
	地域、校区集会所設置等補助事業	(Ⅰ) 集会所の修繕等の一部を補助することによるコミュニティ活動の推進・復旧 (Ⅱ) 町内会・自治会またはコミュニティ協議会の活動拠点となる集会所の建設・修繕等の費用の一部を補助した。(23件) 平成30年7月豪雨災害により被災した地域集会所の復旧費の一部を補助した。(11件) (Ⅲ) コミュニティ活動の拠点となる集会所の建設・修繕等の一部の補助及び平成30年7月豪雨災害で被災集会所の復旧費の一部の補助を継続して実施する。	60,441
	校区集会所管理費補助事業	(Ⅰ) 集会所の管理費の一部を補助することによるコミュニティ活動の推進 (Ⅱ) コミュニティ協議会の活動拠点となる集会所の管理費の一部を補助した。(16件) (Ⅲ) コミュニティ協議会の活動拠点となる集会所の管理費の一部の補助を継続して実施する。	4,165
	地縁団体支援事業	(Ⅰ) 不動産を所有する若しくは所有する意思のある自治会・町内会の支援 (Ⅱ) 令和2年度は新たに4団体の認可を行った。令和3年4月1日現在208団体が認可地縁団体として認可されている。 (Ⅲ) 継続して実施する。	-
創	コミュニティ活動推進事業	(Ⅰ) 地域主体の活動費用の一部を補助することによるコミュニティづくりの推進 (Ⅱ) 令和2年度は46のコミュニティ協議会に対し、区域の世帯数に応じた世帯割区分及び課題解決区分の補助金を交付した。 (Ⅲ) 地域主体のコミュニティづくりを推進するため、継続して実施する。	13,785
創	自主防災組織育成事業(再掲)	(Ⅰ) 自主防災組織の結成促進と活動の活性化を図る。 (Ⅱ) 出前講座を45件実施するとともに、自主防災組織の活動に必要な資機材を25団体に交付した。また、地域の集会所等を届出避難所(36施設)として認定し、備蓄品を配布した。 (Ⅲ) 自主防災組織のさらなる結成促進と活動活性化を支援するため、事業を継続して実施する。	3,975
創	地区防災計画作成支援事業(再掲)	(Ⅰ) 地区居住者等が主体的に取り組めるよう、地区防災計画作成を支援する。 (Ⅱ) 市内3地区において、セミナー及びワークショップを12回開催し、地区防災計画の作成支援を行った。 (Ⅲ) 引き続き、地区防災計画作成を推進するため、事業を継続して実施する。	1,162
創	高梁川流域協働のまちづくり推進事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏域の地域課題の解決に向けた団体相互のネットワーク構築 (Ⅱ) 高梁川流域協働推進会議を2回開催し、高梁川流域地域支援若手専門家集団によるウェブ座談会を実施した。 (Ⅲ) 高梁川流域圏域の地域課題の解決に向けた団体相互のネットワーク構築のため、継続して実施する。	598
創	高梁川流域地域づくり連携推進事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏域で地域課題解決に取り組む市民活動団体の協働の推進 (Ⅱ) 倉敷市で活動する団体から高梁市の団体へ、また、矢掛町で活動する団体から倉敷市の団体へのノウハウ移転2事業に補助し、ノウハウ移転を受けたそれぞれの団体による単独での事業実施につながった。 (Ⅲ) 高梁川流域圏域で地域課題解決に取り組む市民活動団体の協働を推進するため、継続して実施する。	1,239
創	高梁川流域結婚相談所運営事業	(Ⅰ) 結婚相談所の運営により、結婚のきっかけとなる出会いの場を提供を図る。 (Ⅱ) 登録者数595人(男404人、女191人)、見合組数431組、交際組数153組、成立組数16組。(登録は1年更新で、事務経費として年間1,000円を徴収) (Ⅲ) システムの導入等利便性の向上を図りながら、継続して実施する	11,023
創	高梁川流域婚活推進事業	(Ⅰ) 婚活イベントの実施により、結婚のきっかけとなる出会いの場を提供を図る。 (Ⅱ) 6回開催。141人が参加し、カップル28組が成立した。成婚数は2組 (Ⅲ) 婚活イベントの充実や民間団体との連携を図りながら、継続して実施する。	2,462